

～トコトコ新春特大号Ⅱ～

★会社スローガン★

何も変えないことが一番悪い！

2021年（令和3年）1月18日（月）

内定者懇親会

2020年11月25日、来春入社予定の内定者懇親会を実施しました。内定者6名と先輩社員4名が参加、感染予防を行いながらの会となりました。

内定者の内一名は、なんと海外在住の外国籍の方。今回は、オンラインで繋ぎ、参加してもらったことができました。ランチタイムでは、ご自身でお弁当を用意してもらい、画面越しに皆さんと一緒に食べるという初の試みもあり、賑やかな会となりました。

内定者同士は今回の懇親会が初の顔合わせだったため、開始直後は緊張した面持ちでしたが、会が進むにつれ、表情が柔らかくなり、内定者同士で話をするといった光景が見受けられました。

また、ソーシャルディスタンスを保つ為、例年とは違う内容での実施となっていました。内定者同士の顔合わせの機会として、非常に有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。また私も皆さんの入社が楽しみになりました。

（総合サポート課 小黒）



上／本社に集まった内定者の皆さん
左／オンライン参加の様子

改善提案累計表彰①

【累積1500点】
荻窪 久美子（藤沢事業所）

【累計1300点】
木村 卓（横浜金沢事業所）

【累積1000点】
シエラルド（東扇島事業所）

【累計800点】
永島 善太（川崎・計画G）

「日本の企業・文化を知る会」開催

昨年12月、トーンで初の試みとなる「日本の企業・文化を知る会」を開催しました。

日本は立地や民族文化的にも世界に類を見ない特殊な「ハイコンテクスト文化」（高い共有基盤を持った文化）と言われます。欧米など共有基盤が少ないローコンテクスト文化では、しつかり「言語化」してコミュニケーションを行うそうです。それに対し、日本人は最小限の言語化で行う習性があります。「空気を読む」「忖度」「阿吽の呼吸」などはその最たるものでしょう。

このように世界的には「特殊」と言われる文化の中で、外国籍社員が働くのは、大変な苦労を伴うであろうことは、想像に難くありません。

トーンには昨春、5名の外国籍社員が入社しました。その一人一人が、生き生きと輝く会社となるよう、先輩のバトさんと王さんに自分たちの経験を通じてもらう場を設けたのが「日本の企業・文化を知る会」です。実際の経験談を聞いたことで、参加者は迷いや不安の解消だけでなく、日本語学習のコツなどをお互い共有するなど、今後の日本での社会人生活に大いに役に立つ会となったようです。

（人事人財化担当部長・島田）



改善提案累計表彰②

【累積500点】
櫻井 武海（総合サポート課）
宍道 和弘（川崎・計画G）

【累積200点】
松下 麻美（横浜金沢事業所）
鈴木 麻未（成田事業所）

社内写真展入選作品 ～第14&15回～



『晩秋』
平沼 昌典（藤沢）



『紅葉&光』
山崎 祐介（埼玉比企）



『小皿の上の秋』
中津川 久美子（総サポ）



『夕焼けとススキ』
鈴木 智之（藤沢）



『小さな秋 栗』
櫻井 誠健（本社）



『紅葉』
于 廷勇（習志野）



『紅葉のはじまり』
島田 和彦（本社）

【近所の秋】



『通勤道』
パー シンディー
（川崎）



『朝焼け』
高橋 望
（本社）

【冬の朝】



『七里ヶ浜の朝焼け』
櫻井 武海
（総サポ）



『冬の朝んぼ』
中津川 久美子
（総サポ）



『秋のフルーツとアードバック』
永井 伸明
（本社）



『コロナ以来、妻との初デート／鹿島神宮』
王 小明
（習志野）



『秋苔』
高橋 望
（本社）



『東京湾の秋の空』
東崎 京子
（総サポ）



『多摩川の朝焼』
レ タンクン
（川崎）



『冬朝日のピクサイト』
永井 伸明
（本社）



『冬の朝』
櫻井社長



『我が第二の故郷にそびえたつロックハート城』
國分 満義（川崎）



『朝の東戸塚駅前』
櫻井瑞恒
（本社）



『たくさんの自分』



『青森県立美術館』
小黒 遼馬
（総サポ）

次回の写真展テーマは「光」です。ご応募、お待ちしております